

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」 令和5年度（2023年度）授業研究セミナー

道東 地理歴史・公民 実施報告



令和5年12月13日（水）に、「教科・科目における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの実現）」をテーマとして、北海道広尾高等学校において「道東ブロック 地理歴史・公民の授業研究セミナー」（歴史総合）を開催し、道東の各管内を中心に全道から22名（会場10名、オンライン12名）の先生方が参加しました。本セミナーは、東京学芸大学先端教育人材育成推進機構の「高校探究プロジェクト」と連携しており、助言者として、東京学芸大学の日高 智彦 准教授をお迎えしました。本セミナーの実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用願います。

実 施 状 況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭5名、道教委指導主事4名、東京学芸大学2名から成る「授業研究検討チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を計6回行いました。学習指導案検討会では、「歴史総合」大項目D（4）「現代的な諸課題の形成と展望」で行う生徒の探究活動を見据え、研究授業で実施する大項目C（4）「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」における「生徒が現代的な諸課題を歴史的に捉えることができるようになるための授業の在り方」について協議を重ね、生徒の反応や回答を想定しながら、「問い」を検討したり、資料を選定したりするなど、チームとしての授業づくりを進めました。

【研究授業】北海道広尾高等学校 千葉 康平 教諭



【千葉教諭の説明の様子】

授業の導入で、「近代化」の過程で生じた性別役割分業の諸課題を振り返った後、現在の日本の閣僚の集合写真を提示して女性の少なさを生徒に気付かせ、その理由について、生徒が予想を表現する活動を行いました。展開では下記の「本時の問い」の提示後、知識構成型ジグソー法を行い、生徒は資料を読み解き、その内容をグループで共有して個人で思考した内容に他者の視点を取り入れ、「本時の問い」に対する自分の解を表現しました。



【個人思考の様子】

《本時の問い》

「近代化」の局面で生じた性別役割分業の課題に対し、「大衆化」の局面では人々はどのように対応し、その結果、課題はどのような形になり、今の私たちとどう関わるのだろうか。

[単元の指導と評価の計画](#)

[学習指導案](#)

[ワークシート及びエキスパート資料](#)



【グループワークの様子】



【研究協議】「地理歴史科の授業における探究的な学びの在り方について」

参加者は、グループに分かれ、「生徒は、本時のねらい（目標）に到達できていたか」について、生徒の気付きの様子を共有し、検証しました。

○ 参加者より

- エキスパート活動の場面で、同一資料を読解した生徒同士で解釈を交流することにより、難しい資料であっても、読み解くことができていた。
- シグソー活動の場面で、他者の見解と自身の見解との相違点を見出したり、自身の見解と結び付けて考えたりしながら対話していた。
- 「本時の問い」に対する回答の場面で、性別役割分業の課題について、解決できた面とできなかった面の両方に触れて表現している生徒が多く、授業の導入で予想を表現した時よりも深まりがみられた。

また、「大項目D(4)での探究活動の充実に向け、それまでにどのような学習活動が必要なのか」についても、研究授業での取組を踏まえ、協議しました。



【研究協議の様子】



【千葉教諭による説明の様子】

【助言】東京学芸大学教育学部 日高 智彦 准教授

日高准教授から、学習指導案検討会におけるチームとしての協議の過程を踏まえ、探究的な授業づくりについて助言いただきました。「教材研究は、生徒の学びのプロセスのデザインを含むことから、1時間単位ではなく、より長期のカリキュラムの計画において、ゴールの達成に向けて考えるものであること」、「授業づくりは、生徒の学びとの相互作用であることから、事前検討、研究授業だけでなく、授業観察に基づく事後検討が重要であること」等、今後の授業研究の在り方についての示唆をいただきました。



【日高准教授による助言の様子】

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 今まで自分が実践したことのない手法で、生徒が能動的に交流し、知識や概念の理解を深めていく様子が印象的で、大変参考となる内容の研修でした。
- 探究的な学びへのプロセスにおいて、年間計画を立て、見通しをもって授業を行うことがいかに重要かを再確認できました。
- 本日の実践を参考に、生徒にとってより一層自分ごとになる授業を展開したいと思いました。
- 対話的な学びの実践について苦慮していたので、今回の知識構成型シグソー法による協働的な学びを実践してみたいと思いました。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 今回の研究授業・研究協議において、教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - おおいに深まった 75.0% • 深まった 25.0%
- 2 今回の授業研究セミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか。
 - おおいに役立つ 68.8% • 役立つ 31.2%